

## 用語解説

- 認定子ども園・・・保育所及び幼稚園等における小学校就業前の子どもに対する保育及び教育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う施設。都道府県知事が条例に基づき認定する。
- 少人数学級・・・国が標準としている数・40人を下回る児童生徒数で1学級を編成するもの。国は平成23年度より小学1年生を35人以下で1学級を編成するとしている。
- 体系化・・・個々別々の事柄を系統的に統一していくこと。
- 災害時要援護者・・・災害時、避難するまでに支援が必要となる高齢者や障がい者、外国人、乳幼児、妊婦ら。
- 短期入所サービス・・・在宅で介護を受けて暮らしている人が、一時的に施設などに入所して受けるサービスのことで「ショートステイ」ともいう。
- シルバーハウス・・・24時間管理人が在住する高齢者専用アパート。食事・入浴等の日常生活の介助はない
- 小規模多機能型・・・地域で暮らし続け、今の生活環境を出来るだけ維持出来るよう「通居宅介護事業所」「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態を顔なじみの介助者が一体的に提供する事業所のこと。
- 混合型グループホーム・・・認知症対応型共同生活介護（介護保険）と共同生活援助、共同生活介護（障害者自立支援法）を一体的なサービスとして一つの建物で提供する施設
- 要保護児童対策地域協議会・・・児童相談所・保健師・民生委員・子ども園・小中学校・教育委員会などの実務担当者で組織されたもので、児童虐待の早期発見、早期対応を目的に設置された。
- 子育て祝い金・・・土幌町独自の政策として、平成19年度より開始したもので、出生時および第3子以降小学校入学時に祝い金を支払う制度
- 予防ワクチン・・・主に伝染病を予防するためにその病気に対する免疫をつけるための薬液
- 特定健康診査・・・2008年4月より始まった40歳～74歳までの公的医療保険加入者全員を対象とした健康診査制度。メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を予防するための健診。
- 管理栄養士・・・栄養士の上級資格。栄養士よりももっと専門的に栄養学をマスターした上で、国家資格に合格した人に与えられる。
- 公立病院改革プラン・・・総務省が2007年に策定した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、自治体の経営する公立病院の「経営の効率化・経営形態の見直し」などを地方公共団体に求めた「プラン」
- 新エネルギービジョン・・・自然の力を利用したり、今まで使われずに捨てていたエネルギー（太陽光発電やバイオマス発電等のこと）を有効に使ったり地球にやさしいエネルギーの導入推進計画。

- 消防の広域化・・・十勝圏の消防を一元化し、消防力の強化、行財政運営の効率化を図る
- 都市型ロープレスキュー救助資機材・山岳資機材を改良し、人命救助に使用する資機材
- 高規格救急車・・・救急救命士による高度な処置が行える資機材を積載した救急車
- 気管挿管・・・気管に口から喉頭を経由して「気管内チューブ」の挿入を行う気道確保方法
- 薬剤投与認定救命士・心臓機能停止傷病者に対して、医師の指示のもと、厚生労働省が指定する薬剤による薬剤投与ができる救命士
- 都市型救助・・・山岳資機材を改良した資機材を使用して人命救助する方法
- ブロードバンドサービス・・・高速な通信回線の普及によって実現されるコンピューターネットワークサービス
- 地上デジタル難視聴対策・・・山間部や高層住宅の近隣地区など放送電波が十分に届かないためテレビ放送が見られない地域に対する対策
- 高原寮・・・士幌高校に在籍する町外からの遠距離通学者に対しての寮及び農業実習等の研修時の宿泊所として利用するものだが、自主バスの運行等による利用者の減少のため、寮としての機能は廃止し現在は、農業実習等の研修時のみ使用している。
- 戸別所得補償制度・・・食料自給率の向上と農業・農村の多面的機能維持を目的に、主要農産物（米、麦、大豆など）の生産を行った販売農家に対して、標準的な販売価格と標準的な生産費との差額分に相当する交付金を直接交付する制度。交付金の算定に当たっては、品質向上への取組などの要素が加味される。平成23年度から畑作物を対象に実施。
- 農商工連携・・・農林水産業者と商工業者がそれぞれの有する経営資源を互いに持ち寄り、新商品、新サービスの開発等に取り組むこと。
- アンテナショップ・・・企業や自治体などが自社（当該地方）の製品の紹介や試験的販売を行い消費者の反応を調査して商品開発に役立てることを目的として開設する店舗のこと。